

# 11 がっひかりごう

令和 5 年 11 月 1 日 輝 保育園

昼夜の寒暖差も徐々に大きくなり、秋を感じるようになりました。今年は 4 年ぶりに全クラス運動会で成長を披露することが出来ました。日々の練習で、悔しい気持ちや、嬉しい気持ち、達成感等、様々な心の育ちを手に入れました。子ども達の大きな自信につながったと思います。これから気持ちの良い秋。散歩や遠足に出かけ、自然に興味を持つきっかけにしていきたいです。

## ((( 遠 足 )))

11 月 24 日 (金) に遠足を予定しています。

お手数でも、お弁当をお願いします。

日常とは異なる行動と環境を経験することにより、更なる自立心の向上を期待しています。



## ★ いい歯の日 ★

11 月 8 日は「いい歯の日」です。

80 才になっても自分の健康な歯を 20 本以上保つことを目標にしています。

朝、夕の歯磨きを習慣にしましょう。



## = 11 月の行事予定 =

7 日 (火) 避難訓練

9 日 (木) } 尿検査  
10 日 (金) }

17 日 (金) 幼年消防クラブ  
(ひまわり組のみ)

21 日 (火) 誕生会・身体測定

24 日 (金) 遠足 (3、4、5 才)

## === ナース・レポート ===

【急病のとき ⇒⇒⇒ #8000】

朝夕の冷え込みが厳しくなってきました。

1 日のうちの寒暖の差が激しいと、体調を崩しやすくなります。

特に、小さな子どもの体調は、突然、悪化することがあります。

救急外来に受診すべきか、診療時間まで様子を見て大丈夫なのか、判断に迷うこともあります。

そんなとき、電話で相談できる窓口があります。

厚生労働省が各都道府県に設置している電話相談で、子どもの状態を伝えれば、無料で経験豊かな看護師 (必要に応じて小児科医) のアドバイスを受けられます。

電話で「#8000」をプッシュすると、最寄りの窓口につながります。

受付時間は各都道府県によって異なりますが、福岡県は

平日 : 19 時 ~ 翌朝 7 時

土曜 : 12 時 ~ 翌朝 7 時

日祝 : 7 時 ~ 翌朝 7 時

となっています。

## 《《《 お 願 い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

## ☆☆ 家庭の取り組み ☆☆

～ 手本となる大人の姿 ～

- ① 「これくらい」、「みんなもやっているから」に流されない

良くないことだとはわかっていても、「周りが (みんなも) やっているのだから、これくらいなら…」ということはありませんか。

例えば、横断歩道以外での道路横断、タバコ・ごみのポイ捨てなどです。

大人の、周りに流されない姿勢が、子どもの規範意識形成の重要な要因の一つです。

- ② あいさつや言葉遣いを大切に

あいさつは、子どもの規範意識形成の第一歩です。

「おはよう」、「ありがとう」、「いただきます」、「ごめんなさい」等を、保護者が子どもと一緒にきちんとして使しましょう。

普段から使っているのですが、意識的に声を大きくしたり、使う場面を広げたりしていくのもいいでしょう。

また、言葉遣いも大人の影響を受けやすいものです。

相手、時、場合などを考えて使しましょう。

親しい間柄でなければ、丁寧な言葉で話すのが基本です。

また、特に親しい間柄であっても、場合によっては丁寧な言葉遣いが必要なことも手本として示しましょう。

「教育力向上福岡県民運動ホームページ」より抜粋

## こ ども の よ う す

たんぽぽぐみ  
0 才児



歩く事を楽しみ、自分の意思で動けるようになると、自発的で主体的な探索活動が増え、好奇心が深まります。自立歩行を獲得すると「何でも自分でやりたい」と意欲が出てきて、喜怒哀楽などの様々な感情が育っていきます。言葉で気持ちを伝えることはまだ難しく、うまく意思表示ができないもどかしさから泣いたり、自分の思い通りにならず要求が伝わらないとその失望感から泣きわめたりします。手足をバタバタさせ、ダダをこねたり、かんしゃくを起こしたり、まさに自我の芽生えです。何がしたいのか気持ちを聞き出し言葉にしてあげ、行動を決めてしまわず選択肢をあたえ子ども自身が決めることで納得することも多いです。自立するまでの成長過程なので共にやさしく見守っていきましょう。

たんぽぽぐみ  
1 才児



今月は運動会へ向けて、公園の芝生まで、散歩に出かけました。低月齢児は、初回は避難車に乗って行き、途中から少しだけ歩きました。高月齢児は最初から最後まで、友だちと手を繋いで歩きます。途中で興味があるものを見つけると手を放してしまったり、違う方向に歩いて行こうとしてしまったりすることもありましたが「こっちはよ！」と声を掛けると、気づいて保育者の方へ歩いてきてくれます。芝生での運動会の練習では、笑顔で踊ったり、足を屈伸させリズムを取ったりと、その子なりに楽しみながら過ごしています。本番は緊張して泣いてしまう子もいると思いますが、少しでもいつもの姿を見せることができるよう練習しました。お兄ちゃん、お姉ちゃんの練習を見るのも新鮮なようで、前傾姿勢になりながら楽しんで見えています。

すみれぐみ  
2 才児



運動会に向け、練習を頑張ってきました。大好きなミッキーの曲に合わせて、楽しそうに体を揺らし踊る子どもたちです。すみれ組の子どもたちにとっては、初めての運動会ということもあり、いつもとは違う雰囲気や、大勢の人に「見られる」ということに慣れておらず、リハーサルでは、場の雰囲気に圧倒され、固まってしまう姿がたくさん見られました。そんな中でも、お遊戯、かけっこと子どもたちなりに精いっぱい頑張っていました。そして、他のクラスの頑張る姿を一生懸命応援していました。「友だちや保育士と一緒に運動会に参加する喜びを感じる」ということを指標に取り組んできた運動会でした。運動会に参加し、様々な経験を通し、心の成長を感じ取ってもらえたと思います。緊張や恥ずかしさなどを乗り越え、頑張った子どもたちをたくさん褒めてください。

ちゅうりっぷぐみ  
3 才児



活動意欲があったり、なかつたりと、ムラのある事が課題でした。運動会の練習でも上記の姿が見られていたため「頑張る時間」、「遊ぶ時間」という言葉を使って説明し、子ども達の心のもち方にメリハリがつく事を心掛けながら進めました。「今は頑張る時間だね！」という声が聞こえてきた時はとても嬉しく、「そうだね！」とみんなで共有しました。夫々が力を発揮し、次第にクラス全体の意欲もぐっと高まっていきました。しかし、残念ながら、リハーサルではその力は発揮されず課題であった気分のムラが全面に出てきてしまいました。立て直しを図り、本番 1 週間前の子ども達は意欲で溢れています。さて、本番はどのような姿だったのでしょうか。「楽しかった！」と心いっぱい感じてくれていたら嬉しいです。たくさんの温かい応援をありがとうございました。

ばらぐみ  
4 才児



ばら組の子どもたちも空気の冷たさや季節の変化を感じ、「もう秋が来たね」、「寒いから長袖着てきたよ」などの言葉が聞かれるようになりました。それでも戸外に出ると、鬼ごっこや砂場遊びに全力で取り組み、元気いっぱい遊んでいます。先日、園庭でカマキリを捕まえてバケツに入れ観察している子たちがいました。そばに行くと、「カマキリを触るときはここを持つんだよ」、「エサはこのギザギザの手を使って食べてたよ」と、子どもたちが口々にカマキリについて教えてくれます。その話しぶりから、子どもたちが実際にカマキリを観察して、触れてみて、感じたことや見たことから学び、それを相手に伝える力が育っていると感じました。11 月はさらに気温が下がることと思います。体調管理や衣服の調節について意識しながら過ごしていきます。

ひまわりぐみ  
5 才児



運動会が近づくにつれて、子ども達にとって大変だと感じていた練習が楽しいことへと変わり、戸外遊びでも自分たちで運動会の練習をするほどの張り切りようでした。リレーで負けたり転んだりして悔しい思いをしている友だちの気持ちに寄り添った優しい言葉をかけてあげたり、「楽しいね」、「上手だね」と気持ちを共有したりと、元々仲の良いひまわり組の子ども達が運動会でさらに絆を深めることができました。戸外ではだるまさんが転んだや鬼ごっこなどのルールのある遊びを子ども同士で誘い合って楽しく遊んでいます。トラブルが起きると「先生に言ってもどうにもならないよ。自分達で話さなきゃ」と言ってよく話を解決しようとしています。これから寒くなりますが、厚着するのではなく戸外でたくさん体を動かして体を温め、薄着で過ごしていきます。